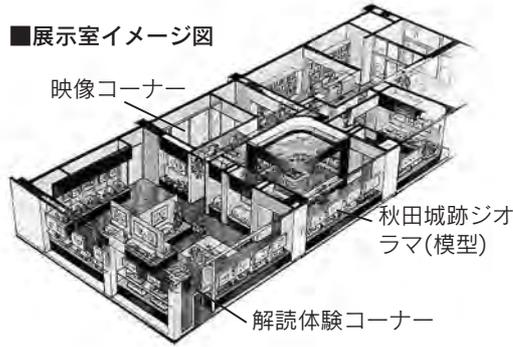


“秋田城跡歴史資料館” 4月16日(土)オープン!

秋田城跡歴史資料館(寺内焼山9-6)
 開館時間▶午前9時～午後4時30分
 観覧料▶200円(高校生以下無料)
 問▶秋田城跡調査事務所

☎(845)1837



資料館内の展示室

おもな展示品



胞衣壺(えなつぼ)

生まれた子どもの成長と立身出世を祈って土の中に埋めた壺で、中に胎盤と貨幣の萬年通宝が入っていました。

胎盤をDNA鑑定した結果、生まれたのは血液型B型の男の子と判明しています。



木簡

てんびょう

「天平六年月」

木簡は、当時紙が貴重だったため、紙の代わりに荷札などとして用いられました。写真の木簡は、「天平六年月」とクギ書きされたもので、「続日本紀」にある「天平5年条の出羽柵秋田村高清水岡への遷地(場所を移すこと)」の記事を裏付ける重要な資料です。



古代の甲(よろい)【復元】



漆紙文書「書状」

漆紙文書は、使用済みの紙を漆の入った容器のフタ紙にし、それに漆が付着して捨てられたあとも漆の保存力のおかげで、土の中でも腐らずに残ったものです。文書の内容には当時の戸籍や手紙など、さまざまなものがあります。

通常文字は判読できませんが、赤外線カメラで見ることが出来る体験コーナーを資料館に設置しています。



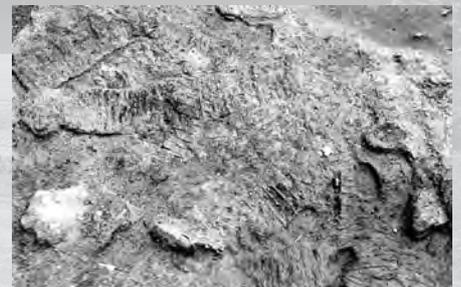
和同開珎(銀銭)

秋田城からは当時の律令政府が鑄造した貨幣が発掘されています。日本最古の貨幣である和同開珎3枚、萬年通宝5枚のほか、富壽神宝1枚が見つかっています。

非鉄製小札甲(ひてつせいこざねよろい)

発掘現場の鍛冶工房跡から、甲を構成する部品である小札(こざね)が多量に出土しました。小札は漆塗りで仕上げられており、材質は非鉄製で革製の可能性が高いと考えられています。

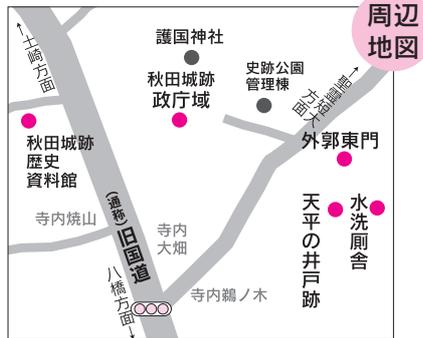
資料館には、それらを復元した甲を展示し、また発掘現場も再現しました。



発掘された甲の様子

◆秋田城跡ボランティアガイドのみ
なさんの活動は、4月1日(金)から
となります。ご利用の際は、秋田城
跡調査事務所へご連絡ください。

☎(845)1837



政庁域

重要な政務や儀式などが行わ
れた秋田城の中心施設。柱の跡
と粘土を搗き固めて積み上げた
築地塀の一部を復元しました。



資料館内には、当時の秋田城の配置など
が分かるジオラマ(模型)も展示します



天平の井戸跡

外郭東門の外側に広がる鶉ノ
木地区で見つかった井戸跡。6
ページにある、「天平六年月」の木
簡が発見されました。



外郭東門

秋田城を囲む城壁の一部と東
側の門を復元。赤い柱、白い壁、
品格ある瓦葺屋根の壮麗で重厚
な門を再現しています。



古代水洗厠舎

鶉ノ木地区の沼地の岸辺で発
見された奈良時代の「水洗トイレ」
を復元したもの。掘立柱建物
と水洗施設の機能が一体となっ
た構造で、当時の都である平城京
にもないような施設でした。



史跡公園を歩いてみよう♪

春はすぐそこ！散策日和に誘われて、秋田城
跡歴史資料館での観覧と一緒に、史跡公園での
フィールドワーク(野外学習)もおススメです。
新しい発見を探しに、ぜひお出掛けください。

対象施設

- 千秋美術館
- 赤れんが郷土館
- 民俗芸能伝承館
- 旧金子家住宅
- 佐竹史料館
- 久保田城御隅櫓
- 旧黒澤家住宅
- 秋田城跡歴史資料館

料金

500円(左記の対象施設窓
口で購入できます)

●問い合わせ 文化振興室
☎(866)2246



「くるりん周遊パス」の
対象施設に「秋田城跡歴
史資料館」が加わります

*上のパスは秋田城跡歴史資料館が加わる前のデザインです。